

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



「県下一周駅伝」必死にタスキをつなぐ



大会4日目、リナシティかのや前でのゴールの瞬間



昨年、急死した久保田良秋総監督の遺影を掲げ、日間2位の激走を報告する選手たち



大会5日目、高須中継所でタスキを渡す瞬間

2月19日から23日までの5日間、県内の53区間、総距離589kmを舞台に「第58回県下一周市郡対抗駅伝競走大会」が開催され、12チームが熱い戦いを繰り広げました。大隅半島を走る大会4日目は、ゴールとなるリナシティかのや前までの10区間109.1kmでタスキが繋がれ、肝属チームは、大勢の市民の声援を受けながら、日間2位でゴールし、地元入りの意地を見せました。

5日間総合では、鹿児島チームが連覇。肝属チームは総合6位となり、残念ながら目標のBクラス優勝は達成できませんでしたが、肝属地区の代表として、全力で駆け抜けました。



市美術展が大盛況



1月30日から2月6日まで、リナシティかのやで「第29回鹿屋市美術展」が開催されました。

同展には、県内各地から229点が出品。審査の結果、大賞を受賞した山下すみれさんの洋画「緋色の決意」のほか、特別賞・奨励賞・入選などに選ばれた洋画や彫刻・工芸など5部門193点が会場に展示され、期間中は約1,800人の来場客でにぎわいました。

輝北 学校統合前に子ども会単位で交流



2月6日、輝北コミュニティセンターで、「輝北地域子ども会大会」が開催されました。

4月からは、小中学校それぞれ1つの学校に統合されるため、仲間づくりの場を設けようといわれたもので、22子ども会総勢174人が参加。

当日は、活動発表やレクレーションなどが行われ楽しい時間を過ごしました。



各種検定試験で快挙



2月23日、各種検定試験で素晴らしい成績を上げた鹿屋女子高校の生徒が、市役所を表敬訪問しました。全商検定では、2人が全8種目、11人が7種目で1級、家庭科技術検定では、3人が3種目で1級を取得。この資格は、就職・進学に高く評価され、この結果は県内でも最高の快挙。生徒たちは「資格を活かして夢を実現したい」と話してくれました。



鹿屋農業高校 黒ちゃんカレーを販売



2月17日、鹿屋農業高校で同校生徒が育てた黒豚と有機米を使った「青春100%農高黒ちゃんカレー」の完成発表が行われました。「こんなカレーを食べたい」という生徒の味覚をもとに、2か月間の試作を繰り返し、購買者に喜んで食べてもらえる商品に仕上がりました。同商品は、生協コープかごしま全店で3月1日から約6,000食が販売されています。